

8 【分析6】中学校学力向上対策事業 研究指定校の状況

中学校学力向上対策事業は、複数の中学校が連携するなどして学習指導の内容及び方法に係る実践的な研究を進め、その成果を検証・普及することにより、本県中学生の学力向上を図ることを目的としたものであり、平成21年度から展開し、今年度が最終年度である。

タイプⅠ：学力向上研究推進地域（学校横断型）＜18 地域，67 校＞

タイプⅡ：学力向上研究推進校（単独校型）＜10 校＞

(1) 調査実施指定校数及び集計対象者数

タイプ別	指定校数	集計対象者数
学力向上研究推進地域（学校横断型）	66 校	2,057 名
学力向上研究推進校（単独校型）	10 校	1,352 名
合 計	76 校	3,409 名

※ 集計対象者がいない学校があるため、今年度の集計対象の指定校は76校である。

(2) 教科に関する調査の結果

① 指定校平均と県平均との比較

	国 語	数 学	英 語
指定校平均通過率 (%)	76.9	77.9	75.4
県平均通過率 (%)	73.2	74.7	71.9
差 (ポイント)	3.7	3.2	3.5

		国 語	数 学	英 語
通過率が県平均を上回っている指定校の割合 (%)	平成 23 年度	84.2	81.6	81.6
	平成 22 年度	68.4	70.1	66.2
	平成 21 年度	62.3	68.8	67.5
通過率の伸びが県全体の伸びを上回っている指定校の割合 (%)	平成 21 年度→平成 23 年度	64.5	63.2	55.3
	平成 21 年度→平成 22 年度	50.0	44.2	54.5

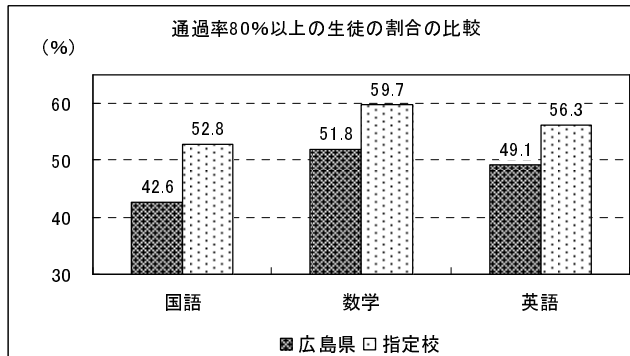
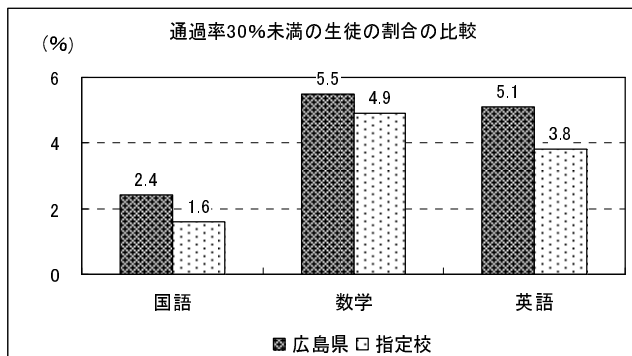
② 通過率 30%未満及び通過率 80%以上の生徒の状況

ここでは、(ア)において、県及び指定校における通過率 30%未満及び通過率 80%以上の生徒の割合を比較した。

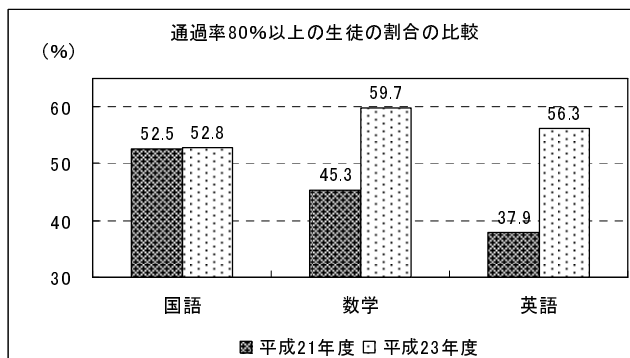
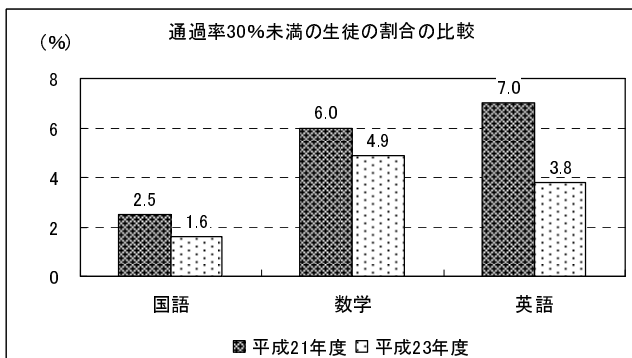
また、(イ)において、指定校の平成 21 年度と平成 23 年度における通過率 30%未満及び通過率 80%以上の生徒の割合を比較した。

- 指定校では、3教科とも県平均より、通過率 30%未満の生徒の割合が少なく、通過率 80%以上の生徒の割合が多い。
- 指定校の結果について、平成 21 年度と比較したところ、3教科とも通過率 30%未満の生徒の割合が減少し、通過率 80%以上の生徒の割合が増加している。

(ア) 指定校と県の通過率 30%未満及び通過率 80%以上の生徒の割合の比較



(イ) 平成 21 年度と平成 23 年度の通過率 30%未満及び通過率 80%以上の生徒の割合の比較



③ 3教科の設問の解答状況

ここでは、平成 22 年度の「基礎・基本」定着状況調査において、3教科で課題のあった設問について、指定校の設問ごとの通過率の状況を県と比較し分析した。

<平成 22 年度調査で課題のあった設問>

- 国語 「段落相互の関係の把握」「登場人物の心情の把握」「行書の基礎」
- 数学 「関係を文字式で表す」「相対度数の意味」「比例の意味」
- 英語 「適切な語を用いた会話文の組立」「話の流れの理解」「つながりのある英文を書くこと」

- 平成 22 年度、3教科で課題のあった全ての設問について、平成 23 年度は、県より指定校の方が平均が高く、平成 22 年度との差についても、指定校の方が伸びが大きかった。

◆ 国 語

調査年度	段落相互の関係の把握		登場人物の心情の把握		行書の基礎	
	H23	H22	H23	H22	H23	H22
指定校平均 (%)	57.7	50.0	33.3	51.7	66.0	58.9
県平均 (%)	56.2	49.9	27.5	51.4	56.9	54.2
県平均との差 (ポイント)	① 1.5	② 0.1	① 5.8	② 0.3	① 9.1	② 4.7
差の比較 (①-②)	1.4		5.5		4.4	

◆ 数 学

調査年度	関係を文字式で表す		相対度数の意味		比例の意味	
	H23	H22	H23	H22	H23	H22
指定校平均 (%)	61.3	50.4	41.3	49.7	67.0	53.3
県平均 (%)	54.4	47.0	36.6	48.9	64.1	51.6
県平均との差 (ポイント)	① 6.9	② 3.4	① 4.7	② 0.8	① 2.9	② 1.7
差の比較 (①-②)	3.5		3.9		1.2	

◆ 英 語

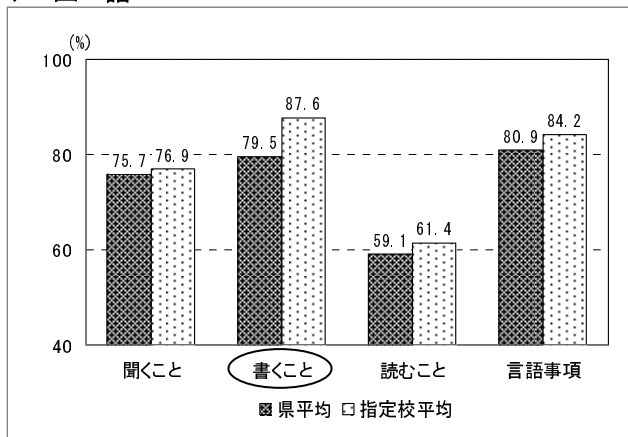
調査年度	適切な語を用いた 会話文の組立		話の流れの理解		つながりのある英文を 書くこと	
	H23	H22	H23	H22	H23	H22
指定校平均 (%)	46.9	36.0	57.1	46.5	69.1	52.1
県平均 (%)	38.3	30.4	54.0	45.1	61.4	45.9
県平均との差 (ポイント)	① 8.6	② 5.6	① 3.1	② 1.4	① 7.7	② 6.2
差の比較 (①-②)	3.0		1.7		1.5	

(3) 教科に関する調査の結果 (領域等別) と学校質問紙の状況

ここでは、まず、平成23年度の県と指定校の領域等別の平均通過率をグラフで比較し、最も差の大きかった領域等を○で囲んでいる。

次に、その領域等の中で、学校質問紙調査(教科の指導に関する調査)の肯定的な回答(「よくあてはまる」「ややあてはまる」)の割合が、県に比べて、最も差の大きい項目を取り上げた。

◆ 国 語

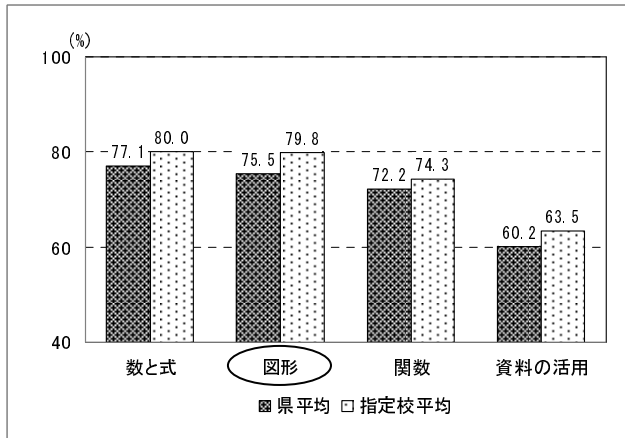


<書くこと>

「書くこと」の指導において、自分の考えを的確に表すために、自分の考えを裏付ける材料を選ばせ、客観性、妥当性のある材料かどうかを吟味、検討させるなどの指導の工夫を行った。

○ 指定校 : 81.6% ● 県 : 70.9%
★ 差 : 10.7ポイント

◆ 数 学



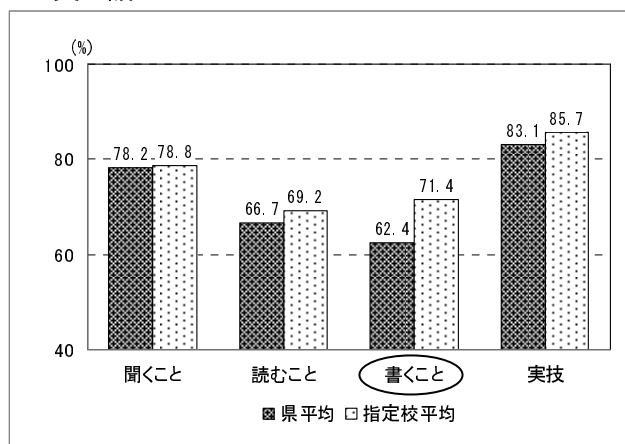
<図形>

円すいと円柱の体積の関係を理解させるために、具体物を使って観察、操作や実験を行うなどの指導の工夫を行った。

○ 指定校：90.8% ● 県：85.1%

★ 差：5.7ポイント

◆ 英 語



<書くこと>

「書くこと」の指導において、自分の考えや気持ち、正しく伝わるように文章を書かせるために、さまざまなトピックを与えるなどの指導の工夫を行った。

○ 指定校：84.2% ● 県：68.2%

★ 差：16.0ポイント

(4) 生徒質問紙の回答状況

ここでは、平成21年度と平成23年度における生徒質問紙調査の肯定的な回答（「よくあてはまる」「ややあてはまる」）について、指定校の伸びと県の伸びとを比較した。

■ 平成21年度と比較した肯定的な回答（「よくあてはまる」「ややあてはまる」）の伸びが、県の伸びと比較して高い質問項目（上位3問）

◆ 生活と学習

質問項目	指定校の伸び	県の伸び	差
自分で勉強の計画を立てています。	8.9	4.9	4.0
ものごとを解決するとき、たぶんこうではないかと予想しています。	5.9	2.0	3.9
分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しています。	7.1	3.3	3.8

◆ 国 語

質問項目	指定校の 伸び	県の 伸び	差
国語の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で、読んだり書いたり、話したり聞いたりすることの役に立ちます。	5.1	1.0	4.1
国語の授業を楽しみにしています。	7.2	3.8	3.4
国語の授業では、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。	8.1	5.1	3.0

◆ 数 学

質問項目	指定校の 伸び	県の 伸び	差
数学の授業では、文章に書かれている関係を式で表すために、言葉の式や図を使って考えています。	6.9	2.9	4.0
数学の授業では、反比例の関係にあるかを考えるときには、反比例の特徴だけでなく、比例の特徴と比較しながら考えています。	7.4	4.2	3.2
数学の授業を楽しみにしています。	5.4	2.5	2.9

◆ 英 語

質問項目	指定校の 伸び	県の 伸び	差
英語の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で、読んだり、話したり、コミュニケーションをとったりすることの役に立ちます。	10.4	5.0	5.4
英語の授業はよく分かります。	9.0	4.7	4.3
英語の授業では、単語や文を実際に発音するなどして、くり返して練習することが好きです。	7.1	2.8	4.3

(5) 学校質問紙の回答状況

ここでは、平成21年度と平成23年度の学校質問紙調査の肯定的な回答（「よくあてはまる」「ややあてはまる」）について、指定校の伸びと県の伸びとを比較した。

- 平成21年度と比較した肯定的な回答（「よくあてはまる」「ややあてはまる」）の伸びが、県の伸びと比較して高い質問項目（上位3問）

◆ 生活と学習

質問項目	指定校の 伸び	県の 伸び	差
「基礎・基本」定着状況調査報告書の指導改善事例を活用した授業研究を行った。	27.7	11.8	15.9
「基礎・基本」定着状況調査報告書の分析を活用して自校のデータを分析・考察する研修を行った。	24.0	11.5	12.5
ことばの教育について、計画的に研修を行った。	4.8	-1.4	6.2

◆ 国 語

質問項目	指定校の 伸び	県の 伸び	差
国語の授業において、生徒にめあてと対応した自己評価をさせた。	14.3	1.8	12.5
「話すこと」の指導において、相手や目的に応じ、伝えたいことを中心をはっきりさせて話をさせるために、構成メモを活用し、効果的な話の構成を考えさせるなどの指導の工夫を行った。	13.5	1.1	12.4
文学的な文章の学習において、場面の情景や心情を読み取る際に、生徒の過去の経験を引き出したり、その状況に近い場面を想起させたりすることにより、登場人物の立場で場面の情景や心情を想像させる指導の工夫を行った。	10.9	0.3	10.6

◆ 数 学

質問項目	指定校の 伸び	県の 伸び	差
事象の中の数量関係を文字を使って表す指導において、先に式を与えて文章を考えさせるなどの指導の工夫を行った。	32.3	12.1	20.2
数学の授業において、生徒にめあてと対応した自己評価をさせた。	24.6	11.8	12.8
友達の考えと自分の考えを比べさせるために、それぞれの考え方や解き方を説明させるなどの指導の工夫を行った。	14.6	5.0	9.6

◆ 英 語

質問項目	指定校の 伸び	県の 伸び	差
英語の授業において、自分で考えたことを書かせる活動を通して、理由や根拠などを付けさせる指導を行った。	23.5	13.8	9.7
「書くこと」の指導において、自分の考えや気持ちが、正しく伝わるように文章を書かせるために、さまざまなトピックを与えるなどの指導の工夫を行った。	10.8	3.4	7.4
「話すこと」の指導において、話が続くようにさせるために、つなぎ言葉や身振り手振りなどが必要となる言語の使用場面を設定するなどの指導の工夫を行った。	14.0	6.9	7.1